

# 今回のおすすめメニュー

No image

『ジョーカー・ゲーム』

著者:柳 広司

出版社:角川書店

所蔵館:中央館

請求記号:913.6 ヤ

## ちょっとあじみ

東京、横浜、ロンドン、上海で繰り広げられる、天才スパイたちによる騙し合い！

今回おすすめするのは、昭和初期が舞台のスパイ・ミステリー「ジョーカー・ゲーム」シリーズ。かつて優秀なスパイであった結城中佐は、現役のスパイを引退した後、1人で「陸軍スパイ養成学校」"D機関"を設立した。12人の学生は互いに偽名で呼び合い、ともに厳しい訓練を受けながら1人前のスパイへと成長していく。スパイものであるが、戦闘シーンは少なく、ハラハラさせられる心理戦・頭脳戦がほとんどである。短編ごとに主役が変わり、学生たちを信頼しながらも、どこかすべてを見透かしているような"魔王"結城中佐とのやりとりが小気味良い。

作中の結城中佐の言葉は、単にスパイにだけでなく、私たちにも通じるものがある。例えば、「とらわれるな。」これは、あるがままの世界を自分の目で見える唯一の方法として、訓練生たちに何度もたたき込まれる。現代においても、他人の目を通して世界を見ってしまうことがある。そんなときに思い出してほしい言葉だ。

## サイドメニュー

No image

『ダブル・ジョーカー』

『パラダイス・ロスト』

『ラスト・ワルツ』

著者:柳 広司

出版社:角川書店・KADOKAWA

所蔵館:中央館

請求記号:913.6 ヤ